

特定非営利活動法人 海洋音響学会

2021 年度総会資料

通常総会・表彰式

月 日 2021 年 5 月 27 日 (木)

場 所 オンライン会議による

◇第 18 回通常総会 (通算第 49 回) (13 : 00 ~ 13 : 30)

次第

1. 開会
2. 議長の選任
3. 審議事項
 - 第 1 号議案 2020 年度事業報告及び決算について (資料 1~3, 別紙 1)
 - 第 2 号議案 2021 年度事業計画及び予算について (資料 4~5)
 - 第 3 号議案 2021, 2022 年度役員の選任について (資料 6, 別紙 4)
 - 第 4 号議案 名誉会員の推薦について (資料 7)
4. 議事録署名人の選任
5. 会長挨拶
6. 閉会

◇第 45 回表彰式 (13 : 30 ~ 13 : 50)

- ・ 顕功賞贈呈 (別紙 2)
- ・ 論文賞贈呈 (別紙 2)
- ・ 業績賞贈呈 (別紙 2)
- ・ JAMSTEC 中西賞報告 (別紙 3)

2020 年度事業報告（案）

1 全般状況

(1) 会員の状況

区 分	2019 年度末	2020 年度末	備 考
名 誉 会 員	15 名	14 名	定期購読者： 5 機関（2020 年度）
終 身 会 員	8 名	9 名	
通 常 会 員	260 名	257 名	
賛 助 会 員	27 社 42 口	25 社 39 口	

(2) 第 17 回通常総会

2020 年 5 月 28 日（木）13:00～13:30

神奈川大学をホストとしたオンライン会議において出席者 155 名（内、オンライン会議出席 28 名，書面若しくは電磁的方法による表決者 70 名，表決委任者 57 名）にて開催した。

審議事項

議長の選任

第 1 号議案 2019 年度事業報告及び決算について

第 2 号議案 2020 年度事業計画及び予算について

議事の概要及び議決の結果

議長の選任

司会者より，川崎良道氏の議長選任を諮り，全員異議なくこれを承認した。

第 1 号議案 2019 年度事業報告及び決算について

議長より，2019 年度事業報告書(案)及び 2019 年度活動計算書，2019 年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表，2019 年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録及び 2019 年度計算書類の注記を配布し，報告したところ，全員異議なくこれを承認した。

第 2 号議案 2020 年度事業計画及び予算について

議長より，2020 年度事業計画書(案)及び 2020 年度活動予算書（案）を配布し，詳細に審議したところ，全員異議なくこれを承認した。

なお，提出書類の軽微な事項の修正については，総務理事に一任する。

(3) 第 44 回表彰式

表彰式は中止とし各賞について報告した。

論文賞

以下の者に論文賞を贈呈することを報告した。

題目 Proposal to Use Fish-Length to Wavelength Ratio Characteristics of Backscatter from Fish for Species Identification

受賞者（所属） 古澤 昌彦 （東京海洋大学）
甘糟 和男 （東京海洋大学）

掲載誌 海洋音響学会誌，Vol. 45，No. 4，pp. 183-196，2018 年 10 月

JAMSTEC中西賞

以下の者にJAMSTEC中西賞が贈呈されたことを報告した。

件名 海底下ゆっくりすべりを検知するための GNSS-A 観測の高度化と海洋学的応用

受賞者（所属） 横田 裕輔 （東京大学）
石川 直史 （海洋情報部）

掲載誌 海洋音響学会 2019 年度 研究発表会 講演論文集, pp. 49-52, 2019

(4) 理事会

年度中 4 回開催し、会の活動と経理の状況を把握しつつ随時所要の対策を講ずるほか、総会の決定に従い本会運営の基本に関する事項を審議決定し、各委員会との連絡を密にして事業の円滑化を図った。

(5) 執行理事会

理事会を補佐し、本学会の全体運営に関わる業務について効率的かつ十分な審議と迅速な執行を目的とし、年度中 5 回開催し、規程類の変更・制定、総務、会計に関する審議を行った。

2 事業の概況

事業内容は資料2「事業報告書」による。なお、詳細は別紙1による。

2020 年度

事業報告書 (案)

特定非営利活動法人 海洋音響学会

1 事業の成果

2020 年度は、特定非営利活動法人として次の事業を行った。

- 第 1. 海洋音響に関する学術調査研究事業として、「海中騒音の評価手法研究部会」を開催した。
 第 2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業として、会誌の発行と、談話会、技術講習会を開催したほかホームページを活用し情報の提供を行った。緊急事態宣言の発令により研究発表会は中止したが発表予定論文を論文集として配布した。
 第 3. 海洋音響に関する奨励事業として、前年度の優秀論文賞の表彰をしたほか、本年度の顕功賞、優秀論文、優秀業績の表彰候補選考、JAMSTEC 中西賞の表彰推薦候補選考を行った。
 第 4. 海洋音響に関する企画交流促進事業として、企画運営委員会を開催したほか、日本海洋工学会等と交流した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【4,778】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
学術調査研究事業	「海中騒音の評価手法研究部会」を 5 回開催した。	9 月 23 日 11 月 24 日 1 月 29 日 3 月 5 日 3 月 31 日	オンライン会議	25 人	海洋音響に関心のある者	約 30 人	0
普及啓蒙事業	会誌 178, 179, 180, 181 号を発行した。	4 月 1 日 7 月 1 日 10 月 1 日 1 月 1 日	法人事務所	19 人	海洋音響に関心のある者	約 450 人	2,603
普及啓蒙事業	研究発表会で発表予定論文の論文集を発行した。	5 月 27 日	法人事務所	20 人	海洋音響に関心のある者	約 250 人	367
普及啓蒙事業	談話会を 1 回開催した。	8 月 26 日	オンライン会議	10 人	海洋音響に関心のある者	約 25 人	0
普及啓蒙事業	「最新技術動向」をテーマに技術講習会を開催した。	12 月 9 日	オンライン会議	6 人	海洋音響に関心のある者	約 60 人	483
普及啓蒙事業	ホームページ運用を通じて活動内容を紹介し、海洋音響に関する情報を提供した。 ホームページの改定を検討し、3 月 31 日にリニューアル作業を完了した。	随時	法人事務所	8 人	一般市民	不特定多数	1,217

奨励事業	<p>海洋音響に関する優れた研究開発成果を表彰した。</p> <p>次年度に海洋音響に関する研究開発の奨励、優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催した。</p>	<p>5月27日 (表彰)</p> <p>10月28日</p> <p>2月22日</p> <p>3月30日 (委員会)</p>	オンライン会議	12人	海洋音響の研究者	約10人	96
企画交流促進事業	<p>企画運営委員会を4回開催すると共に、日本海洋工学会等関連団体との交流、行事の共催を行った。</p>	<p>4月25日</p> <p>8月20日</p> <p>11月18日</p> <p>2月3日</p>	オンライン会議	25人	海洋音響に関心のある者	不特定多数	12

書式第13号 (法第28条関係)

2020年度 活動計算書
2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人 海洋音響学会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
通常会員受取会費	1,488,000	
賛助会員受取会費	7,380,000	8,868,000
2 事業収益		
(1) 学術調査研究事業収益	0	
(2) 普及啓蒙事業収益	139,670	
(3) 奨励事業収益	0	
(4) 企画交流促進事業収益	0	139,670
3 受取補助金	2,000,000	2,000,000
4 受取寄附金		0
5 その他収益		
雑収益	67,760	67,760
経常収益計		11,075,430
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
臨時雇賃金	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
事務委託費	1,241,471	
消耗品費	46,200	
通信運搬費	474,157	
旅費交通費	0	
印刷製本費	2,672,780	
会議費	0	
謝金	320,200	
雑費	24,134	
その他経費計	4,778,942	
事業費計		4,778,942
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
事務委託費	2,561,232	
消耗品費	114,897	
通信運搬費	187,882	
旅費交通費	0	
印刷製本費	24,869	
会議費	0	
雑費	11,983	
その他経費計	2,900,863	
管理費計		2,900,863
経常費用計		7,679,805
当期経常増減額		3,395,625
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		3,395,625
法人税、住民税及び事業税		0
前期繰越正味財産額		17,527,046
次期繰越正味財産額		20,922,671

2020年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	15,823,767		
流動資産合計		15,823,767	
2 固定資産			
基本財産	6,537,458		
固定資産合計		6,537,458	
資産合計			22,361,225
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	1,426,554		
前受会費	12,000		
流動負債合計		1,438,554	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,438,554
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		17,527,046	
当期正味財産増加額		3,395,625	
正味財産合計			20,922,671
(うち基本財産)			(6,537,458)
負債及び正味財産合計			22,361,225

2020年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会
(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
学会手許金	0	
普通預金(みずほ銀行高田馬場支店)	14,625,371	
普通預金(みずほ銀行高田馬場支店・事務局)	119,251	
郵便振替(ゆうちょ銀行高田馬場支店)	1,079,145	
流動資産合計		15,823,767
2 固定資産		
基本財産		
定期預金(三菱UFJ信託銀行本店営業部)	6,537,458	
固定資産合計		6,537,458
資産合計		22,361,225
II 負債の部		
1 流動負債		
未払費用	1,426,554	
前受会費(次年度会費)	12,000	
流動負債合計		1,438,554
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		1,438,554
III 正味財産の部		
繰越正味財産 (うち基本財産)		20,922,671 (6,537,458)

監査の結果、重要な点において適正に表示しているものと認める。

2021年 4月 12日

監事 後藤 英親 印

監事 深見 明久 印

2020年度正味財産20,922,671円は全額次年度に繰越すこととする。

2020年度 計算書類の注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

科 目	学術調査研究事業	普及啓蒙事業	奨励事業	企画交流促進事業	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	8,868,000	8,868,000
2. 事業収益	0	139,670	0	0	139,670	0	139,670
3. 受取補助金	0	0	0	0	0	2,000,000	2,000,000
4. 受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
5. その他収益	0	0	0	0	0	67,760	67,760
経常収益計	0	139,670	0	0	139,670	10,935,760	11,075,430
II 経常費用							
(1) 人件費							
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費							
事務委託費	0	1,241,471	0	0	1,241,471	2,561,232	3,802,703
消耗品費	0	0	46,200	0	46,200	114,897	161,097
通信運搬費	0	474,157	0	0	474,157	187,882	662,039
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	2,672,780	0	0	2,672,780	24,869	2,697,649
会議費	0	0	0	0	0	0	0
謝金	0	270,200	50,000	0	320,200	0	320,200
雑費	0	11,491	220	12,423	24,134	11,983	36,117
その他経費計	0	4,670,099	96,420	12,423	4,778,942	2,900,863	7,679,805
経常費用計	0	4,670,099	96,420	12,423	4,778,942	2,900,863	7,679,805
当期経常増減額	0	△ 4,530,429	△ 96,420	△ 12,423	△ 4,639,272	8,034,897	3,395,625

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	6,537,126	332	0	6,537,458
合 計	6,537,126	332	0	6,537,458

2021年度 事業計画書（案）

特定非営利活動法人 海洋音響学会

1 事業実施の方針

2021年度は、長期的展望に立って、海洋音響及びこれに関連のある諸科学の一層の振興を図るために、次の方針にしたがって活動する。

- 第1. 海洋音響に関する学術調査研究事業を行う。
- 第2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業を行う。
- 第3. 海洋音響に関する研究開発の奨励事業を行う。
- 第4. 海洋音響に関する企画交流促進事業を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【5,840】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
学術調査研究事業	「海中騒音の評価手法研究部会」を開催する。	7月, 10月 1月, 3月	オンライン会議	25人	海洋音響に関心のある者	約30人	100
普及啓蒙事業	会誌を定期発行する。 学会誌の電子化について検討する。	4月, 7月 10月, 1月	法人事務所	20人	海洋音響に関心のある者	約450人	3,300
普及啓蒙事業	水中音響に関する書籍の改定について検討する。	3月	オンライン会議	20人	海洋音響に関心のある者	約250人	100
普及啓蒙事業	研究発表会を開催する。	5月	オンライン会議	20人	海洋音響に関心のある者約	約250人	600
普及啓蒙事業	国際化を目指し外国人講師を招き講演会を開催する。	6月	オンライン会議	10人	海洋音響に関心のある者	約50人	200
普及啓蒙事業	シンポジウムを年2回程度、 談話会を年2回程度開催する。	5月, 8月 12月, 2月	オンライン会議	10人	海洋音響に関心のある者	延べ約200人	300

普及啓蒙事業	技術講習会を開催する.	12月	オンライン会議	10人	海洋音響に関心のある者	約50人	500
普及啓蒙事業	ホームページを運用し, 活動内容を紹介し, 海洋音響に関する情報を提供する.	随時	法人事務所	8人	一般市民	不特定多数	300
奨励事業	海洋音響に関する優れた研究並びに開発成果を表彰する. 海洋音響に関する研究の奨励, 優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催する.	表彰:5月 委員会: 随時	オンライン会議	12人	海洋音響の研究者	若干名	320
企画交流促進事業	事業の企画会議の開催並びに, 国際化に関する検討, 日本海洋工学会等関連団体との交流, 行事の共催・後援を行う.	随時	オンライン会議	25人	海洋音響に関心のある者	不特定多数	20
企画交流促進事業	学会の50周年における記念行事の検討を行う.	随時	オンライン会議	10人	海洋音響に関心のある者	不特定多数	100

書式第9号（法第10条・第25条関係）

2021年度 活動予算書（案）			
2021年4月1日から2022年3月31日まで			
特定非営利活動法人 海洋音響学会			
(単位：円)			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
通常会員受取会費	1,542,000		
賛助会員受取会費	7,020,000	8,562,000	
2 事業収益			
(1) 学術調査研究事業収益	0		
(2) 普及啓蒙事業収益	555,000		
(3) 奨励事業収益	0		
(4) 企画交流促進事業収益	0	555,000	
3 受取補助金			0
4 受取寄附金			0
5 その他収益			
雑収益	90,000	90,000	
経常収益計			9,207,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
臨時雇賃金	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
事務委託費	1,710,000		
消耗品費	270,000		
通信運搬費	200,000		
旅費交通費	10,000		
印刷製本費	2,480,000		
会議費	510,000		
謝金	650,000		
雑費	10,000		
その他経費計	5,840,000		
事業費計		5,840,000	
2 管理費			
(1) 人件費			
臨時雇賃金	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
事務委託費	2,600,000		
消耗品費	120,000		
通信運搬費	200,000		
旅費交通費	0		
印刷製本費	60,000		
会議費	377,000		
雑費	10,000		
その他経費計	3,367,000		
管理費計		3,367,000	
経常費用計			9,207,000
当期経常増減額			0
III 経常外収益			0
経常外収益計			0
IV 経常外費用			0
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			0
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産額			20,922,671
次期繰越正味財産額			20,922,671

2021, 2022 年度役員を選任について

1. 2021, 2022 年度理事 (案)

理 事 (20 名)

赤松 友成	志村 拓也
甘糟 和男	土屋 健伸
内野 雅直	南利 光彦
江川 護	蜂屋 弘之
海老原 格	松本 さゆり
小笠原 英子	向井 徹
小河 慎二	森 和義
川崎 良道	横田 裕輔
澤田 浩一	吉江 宗生
澤田 信一	渡辺 好章

2. 2021, 2022 年度会長および副会長候補 (選挙結果報告)

会 長	川崎 良道
副会長	澤田 浩一
	渡辺 好章

3. 2021, 2022 年度監事 (案)

監 事	遠藤 信行
	後藤 英親

名誉会員の推薦について

海洋音響に関する学問及び技術に関する顕著な功績、また本学会の発展に多くの功績のあった下記の者を名誉会員規定第 5 条に基づき名誉会員とする。

浅田 昭

功績の概要

2000 年 4 月に東京大学生産技術研究所に教授として奉職され、2019 年 3 月末に退職されました。この間、マルチビーム測深機を用いた海底の高精度測定や、ソナーを用いた海中セキュリティなど海洋音響の幅広い分野で貢献され、多くの優秀な人材を育ててこられました。また、本学会の理事として、特に 2005 年から 2016 年までは副会長としても長年本学会を支えてこられました。

2020 年度事業内容

○ 研究発表会

緊急事態宣言の発令により中止したが、発表予定論文を論文集として配布した。

○ 談話会

第1回 (8/26 オンライン会議)

(電子情報通信学会超音波研究会, 日本音響学会超音波研究委員会, IEEE UFFC Society Japan Chapter と共催)

議題: 水中音響, 一般

「レガシーデータの救出と解析～音響学的手法を含む多面的な深海底長期連続観測の活用～」

岩瀬 良一 (海洋研究開発機構)

「空間周波数フィルタを用いた非接触式超音波板厚測定手法の実測データによる評価」

上前 舜 (神奈川大学)

虻川 和紀 (木更津高専)

佐藤 智夫, 松本 さゆり (港湾空港技研)

干場 功太郎, 土屋 健伸, 遠藤 信行 (神奈川大学)

「ドップラーシフトを利用した音速プロファイル取得手法の検討」

吉口 将人, 小笠原 英子, 森 和義 (防衛大学校)

「広帯域計量魚群探知機の校正」

今泉 智人 (水産研究・教育機構・水産技研)

「FDTD法による海面反射変動特性の解析」

津久井 智也 (東京工業大学)

平田 慎之介 (千葉大学)

蜂屋 弘之 (東京工業大学)

「横方向分解能を考慮した二成分マルチレイリーモデルによる肝病変定量評価精度の検討」

Chuang Zhang, 蜂屋 弘之 (東京工業大学)

平田 慎之介 (千葉大学)

「超音波導波路内に浮揚する粉体の挙動」

小松 浩之, 小山 大介, 松川 真美 (同志社大学)

○ 技術講習会

第30回技術講習会

(12/9 オンライン会議)

主題: 水中通信の先端技術

テキスト: 技術資料

「水中光通信の先端技術」

澤 隆雄 (海洋研究開発機構)

「水中音響通信の先端技術」

海老原 格 (筑波大学)

「水中音響通信の現状と高速化の研究開発」

志村 拓也 (海洋研究開発機構)

「水中電磁波通信の先端技術」

吉田 弘 (海洋研究開発機構)

○ 部 会

海中騒音の評価手法研究部会

第3回 (9/23 オンライン会議)

部会運営方針検討, ガイダンス案作成方針検討

話題提供

「水中音の計測と評価」

赤松 友成 (中央水産研究所)

第4回 (11/24 オンライン会議)

ガイダンス案検討 (計測方法)

話題提供

「水中音と背景音の計測手法」

赤松 友成 (海洋政策研究所)

第5回 (1/29 オンライン会議)

ガイダンス案検討 (計測方法, 校正方法)

話題提供

「水中音と背景音の計測手法, 校正方法」

赤松 友成 (海洋政策研究所)

第6回 (3/5 オンライン会議)

ガイダンス案検討

話題提供

「海中音の計測手法・評価手法のガイダンスの素案」赤松 友成 (海洋政策研究所)

第7回 (3/31 オンライン会議)

ガイダンスのプレスリリース

話題提供

「海中音の計測手法・評価手法のガイダンス」

赤松 友成 (海洋政策研究所)

○ 日本海洋工学会

総会

2回 (通期第25回 6/10, 第26回 2021/3/15)

理事会

2回 (通期第41回 6/10, 第42回 2021/3/15)

運営委員会

4回 (第187回 6/10, 第188回 10/20, 第189回 2021/2/8,
第190回 2021/3/15)

海洋工学シンポジウム

1回 (第28回 9/29, 30)

海洋工学パネル

1回 (第52回 2021/3/2)

※ 全てオンライン会議

○ 委員会

企画運営委員会

4回 (4/25(メール審議), 8/20, 11/18, 2/3)

表彰委員会

3回 (10/28, 2/22, 3/30)

編集委員会

8回 (4/17, 6/9, 7/14, 9/16, 10/22, 12/8, 1/21, 3/17)

ホームページ委員会

1回 (11/20), 以降, メール等で数回審議

2021年度研究発表会 兼 オンライン会議推進委員会

6回 (9/2, 9/16, 10/26, 12/3, 3/8, 3/31)

※ メール審議以外は全てオンライン会議

2020 年度表彰一覧表

○顕功賞

・受賞者 遠藤 信行 (神奈川県立大学名誉教授)

・功績の概要

遠藤氏は、長年に亘って水中音源、海洋音波伝搬、音響レンズ、水中映像取得技術等の幅広い研究領域において多数の研究成果を挙げられました。また本学会運営においては、編集委員長、企画運営委員長をはじめとして、副会長、会長の要職を歴任され、本学会の発展にも多大のご尽力を頂きました。さらに、本学会の名誉会員に就任後も、学会行事にも積極的に参加され、後進の指導・育成にも熱心に取り組まれておられます。

このような遠藤氏の学術ならびに本学会に対する多年の活動業績は、我が国の海洋音響技術の発展に顕著な功績が認められることから、本学会の顕功賞受賞者としての要件を十分に満たしていると考えます。

○論文賞

・題目 海洋環境と送受信点の移動を考慮した音響暴露レベル推定手法の検討

・受賞者 (所属 (当時)) 平井 由季乃 (東京海洋大学)
土屋 利雄 (東京海洋大学)
清水 悦郎 (東京海洋大学)

・掲載誌 海洋音響学会誌, Vol. 46, No. 2, pp. 61-68, 2019 年 4 月

○業績賞

・題目 三次元を瞬時に観測できるソナー(半周型カラー 3D スキャニングソナー)
(推薦に関わる仕事をした期間: 2016 年~2020 年)

・企業名 古野電気株式会社

・貢献者 (所属 (当時)) 葛原 一浩 (開発設計統括部 開発部 音響機器開発課)
西坂 政浩 (開発設計統括部 開発部 音響機器開発課)
山崎 勇輝 (開発設計統括部 開発部 音響機器開発課)
賈 春宇 (開発設計統括部 開発部 音響機器開発課)
白石 真貴子 (開発設計統括部 開発部 レーダー機器開発課)
岡 優宏 (サービス統括部 TC テクニカル S 係)

2021, 2022 年度の評議員

1. 通常会員の評議員 (49 名) (選挙結果報告)

赤松 友成	佐藤 隆一	深見 明久
甘糟 和男	澤 隆雄	藤本 治
石前 浩蔵	澤田 浩一	松本 さゆり
今泉 智人	志村 拓也	水谷 孝一
梅津 功	高尾 芳三	水野 勝紀
江川 護	田中 正吉	宮本 佳則
海老原 格	土屋 隆生	向井 徹
太田 和彦	土屋 健伸	村上 泰
小笠原 英子	土屋 利雄	森 和義
奥山 智尚	陶 良	森下 到
尾崎 俊二	長澤 修宏	屋内 伸治
越智 寛	中村 義行	矢吹 哲一朗
加藤 健太郎	西森 靖	山口 功
川崎 良道	野村 英之	横田 裕輔
倉本 和興	長谷川 浩平	渡辺 好章
後藤 英親	蜂屋 弘之	
西條 献児	飛龍 志津子	

2. 賛助会員の評議員 (25 名) (本会に対する代表者)

(株) I H I	澤田 信一
(株) アクアサウンド	笹倉 豊喜
NEC ネットワーク・センサ(株)	森田 雄一
(株) オキシテック	竹越 哲郎
沖電気工業(株)	高嶋 昭一
海洋電子工業(株)	永田 雅之
川崎重工業(株)	横山 真也
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所	吉江 宗生
三波工業(株)	細川 靖浩
ジェイ・アール・シー特機(株)	松下 幸治
JMU ディフェンスシステムズ(株)	小倉 一郎
静岡沖電気(株)	高橋 順哉
ジャパン マリンユナイテッド(株)	小堤 英貴
(株) ソニック	伊藤 宏
(株) 東陽テクニカ	高田 慎
日本アビオニクス(株)	加幡 勝良
日本電気(株)	内野 雅直
日本電気航空宇宙システム(株)	清水 忍
日本無線(株)	鈴木 良登
(株) 日立製作所	南利 光彦
古野電気(株)	小河 慎二
三井 E & S 造船(株)	岩寄 正城

三菱重工業(株)
三菱プレシジョン(株)
横浜ゴム(株)

村山 聖
布田 浩二
内藤 圭一郎